

ドーナツの形が、なめらかにマグカップへと変わっていく。
 そんなアニメーションをご覧になったことはあるでしょうか。
 かたちが連続的に移り変わっていく様子には、不思議な魅力があります。
 では、このような「移ろう形」を、数学ではどのように扱うのでしょうか。
 幾何学は、図形の性質を調べる数学の一分野です。
 そこに“時間”という概念を加えると、
 静止した図形だけでなく、変化していく形も研究の対象になります。

時間学への招待

位相幾何学(トポロジー)では、
 形が時間変化しても変わらない、図形の本質に注目します。
 トポロジストの目には、
 ドーナツとマグカップの間に共通する構造が見えるわけです。
 この講演では、そのような位相幾何学の視点から、
 — 変化する形を数式でどう記述するか
 — 時間の中で変わらずに保たれる性質とは
 — 少しずつ形を変化させ、望ましい性質を持つ形を設計できるか
 という3つのトピックを軸に、移ろう形についてお話ししたいと思います。

参加無料

事前申込不要

2025.11/29 SAT

[時間] 14:00—16:00 (開場13:30)

[会場] アクロス福岡セミナー室2 (福岡市中央区天神1-1-1)

講 師

鍛冶静雄 先生 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所／京都大学理学研究科)
 『移ろう形をつかまえる』

【対 象】市民一般

【定 員】65名 (先着順／事前申込不要)

【主 催】山口大学時間学研究所

【共 催】日本時間学会

【後 援】福岡市教育委員会

【お問合せ】山口大学時間学研究所 tel 083-933-5848 E-mail jikann@yamaguchi-u.ac.jp

